

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 91314 単位数 : 2

科目名	社会科教育法D	科目責任者	仁尾 泰明
課題と試験担当教員	仁尾 泰明		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CTETC361		

■ 科目概要

アメリカや日本における社会科創設の歴史や理念を学ぶとともに、小学校社会科と中学校社会科のつながり、社会科と道徳のつながりを踏まえて、各科目の目標や内容を理解します。それを通して、社会科の教科的特性をより深く認識し、社会科教師としての力量を高めます。さらに、授業づくりの実践をより広くより深く学んで、授業の実践能力を養います。

■ 到達目標

1. 社会科創設の歴史や理念を学び、小・中学校社会科学学習指導要領や中学校道徳科学学習指導要領の目標や内容を理解します。
2. 社会科の教科的特性をより深く認識し、社会科教師としての力量を高めます。
3. 中学校社会科の実践的な指導力を養います。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
『社会科教育の創造』 第1部学習指導要領の理解 第1章社会科教育の歴史 第1節 第2節 第3節	アメリカにおける社会科の成立と展開 日本における社会科の成立 日本における社会科の展開
第2章学習指導要領の目標と内容 第1節	小学校社会科学学習指導要領の特徴 小学校社会科学学習の現状と課題 小学校社会科学学習指導要領改訂のポイント 小学校社会科の教科目標、各学年の目標 小学校社会科の内容構成など
第2節	中学校社会科学学習指導要領の特徴 中学校社会科学学習の現状と課題 中学校社会科学学習指導要領改訂のポイント 中学校社会科各分野の目標と内容など
第2部授業づくりの方法 第3章指導計画と学習指導案 第1節 1 2 3 4 5	年間指導計画と単元指導計画 指導計画の意義 指導計画の種類と構造 社会科の指導計画における小学校・中学校の相違 年間指導計画 単元指導計画

学習範囲 該当する章など	学習内容
第2節 1 2 3 4 5 6	学習指導案の作成 学習指導案の意義 学習指導案の構成 コンピュータによる学習指導案の作成 学習指導案の動作主 「具体的」に書くということ 付属文書の作成
第3部授業づくり の実践 第4節	中学校地理的分野単元名「自然環境」（単元の概要、授業づくりの視点、指導計画、授業の工夫、ワークシートなど）
第5節	中学校歴史的分野単元名「黒船の衝撃」（単元の概要、授業づくりの視点、本授業において留意すべき事項、指導計画、授業の流れと資料の扱いなど）
第6節	中学校公民的分野単元名「私たちと政治」（単元の概要、授業づくりの視点、指導計画、授業の実際など）
『中学校学習指導 要領解説社会編』 付録 付録1	学校教育法施行規則（抄） 小学校、中学校、特別支援教育の教育課程 中学校の授業時数など
付録2	中学校学習指導要領第1章総則 教育課程編成の一般方針 内容等の取扱いに関する共通的事項 授業時数等の取扱い 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項
付録4	小学校学習指導要領第2章第2節 社会（p.151～153） 目標、各学年の目標及び内容
	小学校学習指導要領第2章第2節 社会（p.154～156） 目標、各学年の目標及び内容、指導計画の作成と内容の取扱い
付録5	中学校学習指導要領第3章道徳 目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱い
付録6	「道徳の内容」の学年段階・学校段階の一覧表

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	まず、教科書で試験範囲を正しく把握します。それを踏まえて、試験範囲の内容をよく理解しながら、熟読して下さい。しかも試験範囲のどこから出題されても解答できるように、試験範囲をしっかりと読みましょう。決して山をかけないように。試験勉強を通して、教師になるために必要な知識と技能を確実に身に付けるのだという気持ちで臨むとよいです。 教科書の内容について、その理解と習得を問います。
レポート	レポートを作成する際に最も大切なことは、与えられた課題の題意をしっかりと把握することです。課題が何を求めているのか、正しく認識し、それに対応した論理構成でレポートを組み立てていきます。なかには、これが不十分のいわゆる「的外れのレポート」が時々見受けられます。 次に、大切なことは、自分の言葉で綴るといことです。教科書の該当する箇所をそのまま丸写しにしたものや、教科書や参考書の文章を切り貼りした継ぎはぎのものがありますが、いくら課題の題意を把握していても、レポートの価値はなくなってしまいます。平易な表現でもよいですから、内容をしっかりと理解して自分なりの表現や言葉づかいでまとめて下さい。 さらに、大切なことは下書きの段階で十分推敲を行うことです。下書きをよく読み、レポートを何回もちエックしましょう。推敲を何度も行うことによって、レポートを書くことに慣れ、また、レポートの完成度が高くなります。推敲の時間も十分取るように心掛けましょう。

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■教科書

書名：社会科教育の創造―基礎・理論・実践―
著者名：宮崎猛
出版社名：教育出版
出版年：2009.4
版：
刷：
ISBN：978-4-316-80261-9

■参考書

1. 『中学校学習指導要領解説社会編』日本文教出版 2008年 175円（これはもう一つの教科書として使いますので、「文部科学省学習指導要領解説」からダウンロードして下さい）
2. 『中学校新学習指導要領の展開 社会科編』明治図書 2008年 1700円
3. 『中学校新教育課程 社会科の指導計画作成と授業づくり』明治図書 2009年 1700円
4. 『思考力・判断力・表現力をつける社会科授業デザイン 中学校編』明治図書 2009年 1700円
5. 『中学校社会科新教材授業設計プラン』明治図書 2009年 1900円
6. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学地理モデル』明治図書 2011年 1600円
7. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学歴史モデル』明治図書 2011年 1600円
8. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学公民モデル』明治図書 2011年 1600円
9. 『言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】』教育出版 2012年 560円
10. 『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 社会】』教育出版 2011年 400円
11. 『小学校学習指導要領の解説と展開 社会編』教育出版 2008年 1600円
12. 『小学校新学習指導要領の展開 社会科編』明治図書 2008年 1800円
13. 『中学校新学習指導要領解説 道徳編』日本文教出版 2008年 132円
14. 『中学校新学習指導要領の展開 道徳編』明治図書 2008年 1890円
15. 『新版社会科教育辞典』ぎょうせい 2012年 5000円

■履修上のアドバイス

教科書を丁寧に読み、わからない語句や用語がないように辞書などでよく調べ、その上で内容全体も正確に把握して下さい。大切なことは、通読のレベルにとどまらず精読することです。

■自習時間

個人差がありますが、レポート1課題あたりの作成に20時間程度、科目試験の勉強に40時間程度が考えられます。

■担当者のプロフィール

1949年に北海道函館市で生まれ、神奈川県横浜市で育つ。
関心を持つ分野は「地理学」「地理教育」「社会科教育」
好きな言葉は「使命を自覚するとき、才能の芽は急速に伸びる」